

9月にはわくわくするステージが!!



楽団四季 Jolly forest Jazz orchestra
(ジョリー フォレスト ジャズ オーケストラ)
むら か み さ と み
村上 智美 さん

「ジョリフォレの活動は
とてもやりがいがあります」
と笑顔で語る村上さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.110

真夏の日差しを浴びて咲く白やピンクの金平糖のような百日紅の花、背高のつぼの向日葵、蝉しぐれ・賑やかな夏も夕方ヒグラシが鳴きはじめると、ちよつびり心細くなるのかな？
みの〜れ周辺の大きな木々の木陰は、ひんやりして気持ちがいいので涼みに来ませんか？
今回は、みの〜れ住民楽団 楽団四季ジョリーフォレストジャズオーケストラ（通称ジョリフォレ）でアルトサクソス担当の村上智美さん取材します。

ジョリフォレに 関わってからは ジャズ一色に！

村上さんは小学校の鼓笛隊と中学校の吹奏楽部でクラリネットを担当。高校の吹奏楽部で念願のアルトサクソスを担当しました。

高校の同級生で卒業してからも仲が良い引田さんはジョリフォレのメンバーで「楽器を持つているのなら一緒にやろうよ」と声をかけてもらったのがきっかけで平成22年にジョリフォレに入団しました。でも、入ったのはいいのですが、ジャズは難しいですね。「イン・ザ・ムード」とかメジャーな曲しか知らなくて、いろいろな曲を聴いて勉強しました。サクソスの音もジャズだと音が違うんですよ。本当にカルチャーショックを受けて驚きました。それから自分で工夫をして音を出したり、みの〜れで企画しているジャズのワークショップに参加して、有名な講師の先生からアドバイスをもらっ

たりして、だんだんとジャズの音が出せるようになりました」と笑顔で話してくれました。

村上さんの初舞台はみの〜れ支援隊の交流会でした。「同じパートを吹いてくれる人がいたので心強かったです。ジョリフォレは市内だけではなく市外のイベントにも数多く出演しています。本番が多くあった方が目標がありますよ。昼間は音を気にしないで練習できますが、さすがに夜練習するときは音が外に漏れないように気を使います。でも、みの〜れで練習するときは周りを気にせず、思う存分のびのびと演奏することが出来ます。趣味としてずっと続けていけるものがあるっていいですよ。みの〜れに感謝です」と村上さんはコードしかななくて、音符がないので本当に怖いんです。それを克服していかないと駄目ですよ。ね。数を重ねていけば大丈夫だと言われているんですけど、その壁を取り除けたらいいなと思います」と話してくれました。

村上さんに趣味を聞いてみると、「ジャズを聴くことですね。『この曲いいな』とか、『この吹き方は参考になるな』とか考えながら聴いています」と楽しそうに話してくれました。

9月11日にみの〜れで行われる、「フロントページオーケストラin小美玉」について聞いてみると、「ジャズのワークシヨップで講師をしていた三木俊雄先生率いるフロントページのメンバーは10人いてそれぞれが国内最高峰とされている演奏者の方なので是非観に来てほしいです。みの〜れで聴けるなんて素晴らしいですよ。私は、ソロもあって緊張しますが、たくさん練習して、気持ちに余裕をもって臨みたいと思います」と意気込みを話してくれました。ジョリフォレの他にもBトレインジャズオーケストラと小美玉市で主に活動するキャッスルオブドリームジャズオーケストラの素晴らしい演奏があります。みなさん、是非観に来てください。

(藤田佐知子)